

自然学習講座

テーマ：水元公園ナイトウォッチング

日時：令和8年7月25日(土)、8月2日(日)、8月8日(土)
18時30分から20時30分まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：各回30人

受付開始：令和8年6月22日(月)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和8年7月7日(火)までWebで受付。応募多数の場合は抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。また、お持ちであれば懐中電灯をご持参ください。
※ 小学生以下は保護者同伴。



セミの幼虫やコウモリ、カエルなど、夜に活動する生きものを観察します。

イベント・ガイドウォーク

小学生の夏休み自由研究シリーズ

8月6日(木)
①9:30~11:30
②13:00~15:00

『鳥の巣箱ってなに？巣箱の中を覗いてみよう！』

自由研究の進め方を学びます。鳥の巣箱を実際に作り、設置済の巣箱をのぞき、鳥の暮らしを学びます。※巣箱代がかかります。



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

(金61系統)

水元かわせみの里下車 徒歩1分

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和8年 6月20日
(通算第231号)

大きさはミジンコ並み？ 小さなゲンゴロウの仲間！

チビゲンゴロウは大きさ約2mmと、

ミジンコぐらいの大きさの

とても小さな水生昆虫です。

しかし、飛ぶ能力に優れる

ため、環境の変化に強く、

現在の都会でも見ることの

できる、比較的身近なゲン

ゴロウの一種です。

水元小合溜の生きもの:221

チビゲンゴロウ

ゲンゴロウ目ゲンゴロウ科

全長 2mm

時期 4~11月

実際の大きさ！

2mm 1mm ×30倍



ミジンコとほとんど同じ大きさのチビゲンゴロウ▶



お尻から空気を吸う！？

水生昆虫は水中で呼吸をするために様々な工夫をしています。ゲンゴロウの仲間は背中の中のお腹の間に空気をため込み、酸素ボンベのように使って呼吸をします。空気交換の際には、お尻を水面につきだして空気を吸う様子が見られます。



▲お尻から吸った空気が気泡となって付いている様子

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



6/4 ネジバナ 日当たりの良い草地でらせん状に花を咲かせる。咲き方は右巻きや左巻き、巻かないものなど様々。



6/4 ヤブカラシ 藪をも枯らす繁殖力が名前の由来。橙色の花は蜜が多く、様々な虫が蜜をなめに訪れる。



6/4 ヤマモモ 野草園で熟した果実が見られた。濃赤色に熟した果実は甘酸っぱく、ジャムや果実酒にされる。



6/4 オニスゲ 湿地に生えるカヤツリグサ科。ヤワラスゲと似るが、果胞（ふくらみ）を触ると固いことで判別できる。



6/4 ナナフシモドキ 名前の由来は七節（枝のこと）によく似るから。名前の通り植物の枝に完璧に擬態していた。



6/4 ミスジハエトリ オスは頭部に赤茶色のライン、背中に縞模様を持つ。徘徊性のクモで、室内を歩き回っていた。



6/4 カルガモ(♀) かわせみの池の岩場で羽づくろいをしたり、頭を羽にうずめて休んでいた。脚が朱色でよく目立つ。



6/4 カワウ 羽を広げて乾かしていた。水に潜って狩りをした後、羽に水がしみこむため、こうした姿はよく見られる。



6/4 コフキトンボ シオカラトンボより小さい。白い粉を吹いたように見える。体を擦ると、白い粉がとれて黒くなる。

専門員コラム 「水元公園で増えつつあるトンボ」のお話

ここ数年、水元公園は地球温暖化の影響もあり、夏場に非常に厳しい猛暑が訪れます。また、水元小合溜に侵入した園芸用スイレン（重点対策外来種）も年々その勢力を強めており、現在、水元小合溜の北側を埋めつくす勢いで広がっています。こうした環境の変化により、これまで見られていた生物が減少する中、逆に増えている生きものもいます。コフキトンボがその一つ（**9**）です。

コフキトンボは「水生植物の多い」湿地を好むトンボです。水元小合溜はかつての水質汚濁や護岸工事、アメリカザリガニ等の影響で水草が激しく減少しましたが、園芸用スイレンの増加により「水生植物の多い湿地」になりました。地球温暖化による猛暑は、野生生物達にとって大きな脅威です。しかし、コフキトンボは体表面に分泌した青白いワックスによって紫外線を含む太陽光を反射することで、猛暑の中でも活動できます。そのため、多くの生きものにとって厳しい外来種の影響下や猛暑の中でも、その個体数を増加させているようです。

生物は種類ごとに、それぞれ生存に適した環境を持ちます。水元小合溜は広大な湿地ですが、その中には様々な環境の違いがあり、生きものはその存在で環境の変化を教えてください。生きもののメッセージに耳を傾け、自然を見ると、多くの気づきがあります。（野間）



2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

ボランティア活動報告

野草園のカエル池を整備しました！

5月28日のボランティア活動で、野草園のカエル池とその周辺の草刈り整備を行いました。水面や水際に茂った植物を刈り取って、水面が広く見えるようにすることで、トンボなどの水辺の生きものたちが池を利用しやすくなるようにしました。



茂りすぎた池の草を、皆で刈り取りました。



水面が見えやすくなれば、トンボが産卵場所として利用しやすくなります。



水草は水生生物の利用場所にもなるので、一部はそのまま残しました。(写真はミクリ)



整備後、さっそく池に気づいたのか、オオシオカラトンボが飛来していました！

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生きものの調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きものの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 6月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

6月の見頃

オオカマキリ(幼虫)

5月に孵化したと思しき幼虫が、野草園の草木や柵などを歩き回っている様子がよく見られます。まだ体が小さいため、ハゴロモ類やハエ類などの小昆虫を捕えて食べています。

写真の個体は体が灰褐色ですが、きれいな黄緑色をした体色の個体も見られます。



見られる
ポイントは
ココ！

野草園マップ

